

【実務経験証明書記載例 8】(関東電気保安協会等に所属) - (自家用電気工作物の需要設備の工事経験)
(実務経験を3年以上で申請する場合)

実 務 経 験 証 明 書

ふりがな	やまだ たろう	生年 月日	昭和・平成 46年 8月 31日
氏 名	山田 太郎		
現 住 所	〒166-0000 TEL 03-3333-1234 東京都杉並区〇〇町1-2-3		
現在の勤務先	名 称	(財) 東京電気保安協会	
	所在地	〒150-0000 TEL 03-5555-1111 東京都渋谷区〇〇町4-5-6	

実 務 経 験 の 期 間 及 び 内 容

所属部署及び役職名	期 間	職 務 の 内 容
(財) 東京電気保安協会 渋谷支部	平成 15年 4月 1日) 平成 18年 9月 30日	<p>(第2種電気工事士免状 平成13年11月20日取得) (関東工科大学 平成14年3月卒業) (認定電気工事従事者認定証 平成15年7月10日取得)</p> <p>左記の期間、当協会と電気の保安に関する委託契約を締結する下記需要家を対象に、500kW以上の作業については、電気主任技術者の指導監督のもと従事した。 また、このうち契約電力500kW未満の需要設備の低圧屋内配線工事等については、認定電気工事従事者認定証を取得後に作業に従事したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気設備点検の結果、絶縁劣化の進行が認められた照明器具、コンセント用低圧屋内配線設備及び給排水設備の電線・ケーブル・ブレーカ・配線器具・自動制御機器等の取替工事 <p>Aビル 契約電力 150kW(平成〇〇年〇月〇日～平成〇〇年〇月〇日) Bホテル 契約電力 800kW(平成〇〇年〇月〇日～平成〇〇年〇月〇日) C工場 契約電力 750kW(平成〇〇年〇月〇日～平成〇〇年〇月〇日) (工事件数 〇件)</p> <p>実際の電気工事の日数 (電気工事従事日数 〇日)</p>
通 算 期 間	3年 6月	

実際に電気工事に従事した期間をお書きください。
日常点検・巡視等は実務経験にはなりません。点検・巡視等を除き、実際に電気工事をした期間、件数、日数をお書きください。



上記のとおり、実務経験を有することを証明します。
平成〇〇年〇〇月〇〇日
所在地 東京都渋谷区〇〇町4-5-6
法人名 (財) 東京電気保安協会
(法人以外の場合にあっては事業所名)

代表者の役職と氏名 代表取締役 鈴木 一郎
(法人以外の場合にあっては任命権者等の氏名) 理事長印
電気工事業者登録・届出番号等 (東京都届出第241111号)

- 1 実務経験の証明者は、原則として上記の実務経験を積んだ業者の代表者(代表取締役等)となります。
- 2 代表者印は、社判(角印)ではなく、登録をしている代表者印(丸印)です。
- 3 実務を2社以上で経験された方は、それぞれの会社の実務経験証明書が必要になります。
- 4 電気工事業の登録がある場合は、番号を記入してください。
電気工事業の登録・届出番号は、建設業の届出番号(般-22 〇〇〇〇)とは異なりますので間違えないようにしてください。また、東京都以外へ届出をしている場合は、「経済産業省届出〇〇〇〇号」等のように記入してください。
- 5 大学・短大・高専(5年制)卒業者にあっては、卒業証明書と次の7課程修了を証明する書面(原本)が必要です。(電気理論、電気計測、電気機器、電気材料、送配電、電気法規、製図(配線図を含む))
- 6 認定電気工事従事者認定証をお持ちいただくとともに写しを提出してください。
- 7 工事経験は実際に従事した工事期間が3年以上でないと実務経験にはなりません。